

■第1回星川環境保全検討委員会のふりかえり

	意見	解答・方針	対応
1【原風景について】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・地図上に細かく原風景の要素をプロットすべき。 ・地域の方々への聞き取り調査を行うべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン等で地域の方への聞き取り調査を行い、伺った思い出や昔の様子から残していくべき原風景要素を整理する。 ・画一的ではなく、様々な要素を考慮し、整備方針を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査と聞き取り調査により原風景の要素とイメージを整理した。 <p>→【議題1】へ</p>
2【馬見塚橋について】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に馬見塚橋の価値や特徴について整理し、馬見塚橋の安全性の面で問題があるかどうか共有すべき。その次に橋の価値を考慮しながら安全性の面で問題を解決する方法を模索していくべき。 ・欄干がとても低く危険である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文献調査等により馬見塚橋について理解を深める。 ・平成23年の点検によりひび割れを鉄筋の露出が見つかった。橋状況と利用頻度を含めて保存方法や架け替えについて検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保存方法を検討するため、文献調査や既往調査により歴史的背景、土木遺産的価値、構造面、治水面についてまとめた。 <p>→【議題2】へ</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・新設の北進大橋と馬見塚橋の位置づけは？都市計画等と関連づけて考えていくとより良いだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北進大橋と馬見塚橋はかなり形態が違うが、交通の分散に関してアンケートや聞き取り調査を通じて判断していく。 	
3【アンケートについて】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを行う前に馬見塚橋の特徴や価値などの情報を整理すべき。 ・事前に住民へ馬見塚橋について周知すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの前に住民に馬見塚橋の価値や特徴をまず周知することを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民への周知方法を検討した。 <p>→【議題3】へ</p>
4【キタミソウのモニタリング方法について】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・継続性を持ってモニタリングを行わないと意味がない。 ・住民を巻き込み、継続的に調査を行うために、調査を行うコンサルと県内の環境保全団体が情 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年に一度本格的な調査を行い、その間の4年間は地域の方々を中心となって簡易的な調査を行う方法を検討している。今年度調査を行うコンサルとともに県内の団体とも相談をしながら、来年度以降のモニタリン 	<ul style="list-style-type: none"> ・島田委員、橋本委員にご指導いただき、来年度以降のモニタリング方法の検討を行った。 <p>→【議題4】へ</p>

	<p>報共有を行う態勢を整えていくべき。</p> <ul style="list-style-type: none">・住民が行う調査はマイプロットという方法が有効である。	<p>グの仕組みや方法を検討していきたい。</p>	
--	--	---------------------------	--